



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー 第2780地区

## 寒川ロータリークラブ

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 毎週 月曜日 18:30

会長 井上 稔 幹事 村松 一

会報委員(クラブ管理運営委員会)

鈴木正秋 石塚雄司 秋本茂雄 下里宏規 三澤京子 三留通男



### 第2215例会 2022年6月27日(月) 晴れ時々曇り

司会 小澤副幹事

斉唱 手に手つないで

ソングリーダー 石塚クラブ管理運営委員

ビジター: 近藤勝茂会長・品田雄一幹事・下田益子様・関口直美様・原 博章様・牧石健志様(平塚湘南RC)

メイクアップ【本日分】 椎谷会員(北海道2500ロータリーEクラブ)

三澤会員(AG連絡会議)

#### 会長の時間

本日は平塚湘南RCから多くのビジターの方にご出席いただきましてありがとうございます。当クラブの入澤様も今日久しぶりにご出席いただきうれしく思います。今日は今年度最終例会で、後ほどたっぷりとお時間を取っていただいています。よろしくお祈りします。さて、このところ真夏日猛暑日が続いており夏真っ盛りの様な感じですが。そこで夏の風物詩「ホタル」についてお話しします。ホタルは、カブトムシやクワガタムシと同じ甲虫に分類されます。日本には約50種のホタルが生息していますが、多くは陸生で、水生ホタルはゲンジボタル、ヘイケボタル、クメジマボタルの3種のみ。日本でホタルといえば、一般的にはゲンジボタルかヘイケボタルを指します。この2種は里山的環境に生息しているため、日本人のふるさとのイメージと関連付けて昔から親しまれてきました。ゲンジボタルは体長12~15mmなのに対しヘイケボタルは7~10mmと一回り小さく、胸部の黒い模様がゲンジボタルは「+」、ヘイケボタルは「-」になっているのが特徴。ゲンジボタルは水が流れる小川などの流水域に生息し、ヘイケボタルは水の流れていない水田やため池などの止水域に生息しており、どちらも幼虫の頃は肉食で、ゲンジボタルはカワニナ、ヘイケボタルはモノアラガイなどの巻貝を捕食して成長します。その後、さなぎになり羽化して成虫になると水だけで過ごします。ゲンジボタルもヘイケボタルも、体はメスのほうが大きく、発光器官はオスのほうが大きいことが見た目の特徴です。またオスは飛びながら発光し、メスは川辺の草の上などに止まって発光するという違いもあります。ゲ



ます。ゲンジボタルのほうがヘイケボタルよりも体がい分、光が明るく強く見えます。名前は源氏と平家に由来するという説もあるようですが、詳しくは明らかになっていないそう。ホタルは光の点滅によって個体間でコミュニケーションをとり、オスとメスが会おうと交尾をします。発光は腹部末端(おしりの部分)にある発光器の中で起こる生化学的な酸化反応によるもの。発光器の中にはルシフェリンという物質とルシフェラーゼという酵素があり、ルシフェリンにルシフェラーゼが加わると酸化反応が進み、黄緑色の光を放ちます。ホタルは成虫になる前の、卵、幼虫、さなぎの時から発光することができます。成虫よりは弱くぼんやりした光ですが、卵の時からずっと光っています。同種のゲンジボタルでも地域によって光り方、明滅速度のパターンが異なります。東日本では4秒に1回点滅する4秒周期、静岡や山梨、西日本では2秒に1回点滅する2秒周期、その中間付近の長野あたりでは3秒に1回点滅する3秒周期が知られています。さらに昨年、1秒に1回点滅する1秒周期のゲンジボタルが長崎県の五島列島に生息することが、長崎大学教育学部の研究グループによって明らかにされました。これらの明滅パターンとともに遺伝子も地域ごとに違います。しかし、なぜこのような発光周期の差が生じたかはまだ解明されておらず、神秘のベールに包まれています。寒川でもさむかわエコネッ

#### 出席報告

| 会員数   | 出席計算会員数 | 出席会員数 | 暫定出席率  | 確定出席率        |
|-------|---------|-------|--------|--------------|
| 31名   | 31名     | 30名   | 96.77% | 第2211回93.33% |
| 本日欠席者 | 中野会員    |       |        |              |

トの方たちが旧目久尻川(宮山)のせせらぎに今年はホタルの幼虫を1200匹放ったそうです。ホタルを鑑賞できたところ暑さも少ししのげるかもしれませんね。

### 鈴木正秋会員にリモート例会・理事会等の開催時機材費用に対するお礼贈呈



#### 幹事報告

#### 例会変更

藤沢RC

#### 週報受理

なし

#### その他受理

#### ●ガバナー事務所

～次年度地区ロータリー財団セミナー {7/16(土)12:30  
～ 於: アイクロス湘南 対象者: 次年度会長・次年度 R 財団委員長・次年度奉仕プロジェクト委員長のうち2名} (中村国際奉仕委員会副委員長・下里奉仕プロジェクト委員会副委員長出席予定)

#### 回覧

なし

#### 委員会報告・地区および地域出向者報告

#### 次年度親睦活動委員会 若菜委員長

次年度最初の事業「直前会長幹事・ガバナー補佐慰労会並びに新会員歓迎会」の最終案内をさせていただきます。場所は「隠れ里・車屋」。送迎バスを利用される方は18:00寒川駅北口ロータリー集合・出発となります。例会点鐘は18:30です。最終確認として再度回覧を回しています。今一度ご確認をよろしくお願いいたします。

#### 石腰次年度会長

次年度最初の例会7/4に當間ガバナー補佐がご挨拶にお見えになります。皆さんにお会いするのを楽しみにされているそうです。どうぞご承知おきください。

#### 2214回スマイルボックス

合計52,000円

#### ◎近藤勝茂会長(平塚湘南RC)

6名で参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

#### ◎當間安弘様他5名(平塚湘南RC)

寒川ロータリークラブの皆様、次年度ガバナー補佐の當間です。今年度三澤ガバナー補佐に指導を引き続きいただくことになりそうですが、誠心誠意年間務

める所存ですのでよろしくお願いいたします。

#### ◎井上稔会長

- 1) 本日は平塚湘南RC会長近藤勝茂様始め多くの会員の皆さまのご出席、ありがとうございます。
- 2) 入澤会員のご出席、うれしく思います。
- 3) 最終例会を迎えることができましたこと、皆様のご協力があったおかげだと思います。ありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

#### ◎村松幹事

本日で最後の例会となり、幹事としても最終となります。一年間ありがとうございました。また、井上会長、お疲れ様でした。

#### ◎入澤会員

- 1) 久しぶりに皆様の笑顔を見ることができてうれしく思います。私もここまで回復したことを合わせてご報告申し上げます。
- 2) 井上会長、一年間お疲れ様でした。

#### ◎内野会員

会長、幹事、一年間お疲れ様でした。

#### ◎島村会員

井上会長、村松幹事、たくさんの良い話を聞かせていただきました。一年間お疲れ様でした!

#### ◎秋本会員

井上稔会長、村松一幹事、一年間お疲れ様でした。そして、ファイナル例会おめでとうございます。

#### ◎井上晋一会員

井上稔会長、村松幹事、一年間ご苦労様でした。

#### ◎鈴木正秋会員

井上会長、一年間お疲れ様でした。

青木、石腰、石塚、磯川、大澤、小澤、金子、菊地、椎野、茂内、下里、鈴木(郁)、高波、中村、二見、三留、山本(和)、山本(哲)、若菜、各会員

#### 会長最終スピーチ

#### 井上稔会長

振り返ってみますと、まず会長予定者という大役を18ヶ月前に急遽お引き受けし、当初は戸惑いや心配、不安な事がたくさんございました。次年度の組織づくりを検討する中で理事役員の皆様のところへお願いに伺った時、快くお引き受けいただけたことは大変有り難かったと思っております。地区のPETSはコロナの関係でパソコンを相手にマイロータリーでの研修となり、その後の地区研修・協議会参加の皆様もマイロータリーでオンライン研修をしていただきました。マイロータリーで検索しますとたくさんの情報やロータリーについて勉強になる事が大変多くありました。これから皆様もマイロータリーの活用をよろしくお願いいたします。そうこうしているうちに6月までの準備段階も後半になり、いよいよ新年度最初の例会での「会長の方針挨拶」「活動計画」で話すことの作文作業の準備に取り掛かりました。年度スタートの時の会長方針としましては、RI会長インドのシェカール・メター氏の「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」のテーマのもとに活動していくお話をさせていただきました。さらに会員増強は、引き続き大きな目標「世界

の会員120万人を130万人に」に向けて「もっと行動し、もっと成長する」ことを基盤として行動する。この時にもお話ししましたガンジーの話が印象深かったです。人生では与える者、奉仕する者になりなさい。奉仕するときも奉仕させていただけますかという謙虚な気持ちになりましょう。というもので「奉仕とは自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」という心情を持つ。奉仕を定義するのは奉仕の規模ではなく、奉仕に対する姿勢です。実際にこれはなかなか難しいことですが。会長方針の中で『多様性 公平さ 開放性』を見据え、地域で活動されている方々とのネットワークを築きながらクラブの活性化・楽しいクラブづくりを目指していこうと申しました。多様性とは、年齢や人種、社会的地位、文化、性別、能力にかかわらずあらゆる背景を持つ人を称えること。公平さとは、クラブ会員の公平な扱いと機会に均等をたもつこと。開放性(インクルージョン)とは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブ環境づくりに力を注いでいくことを表します。今年度の活動計画は、大きく分けて5項目をあげました。1.会員増強・維持:コロナ禍で大きな会員増強事業はできませんでしたが、2名入会1名退会となりました。次年度入会予定者石丸さん。これからもよろしく願います。2.創立50周年に向けてクラブ内の活性化:創立50周年準備委員会(現在は実行委員会)菊地委員長には各部会の会議内容やフォーラム開催によって方向性がほとんど固まってきました。記念事業部会の内容も煮詰まり、来年度へ向けて皆様の皆様による皆様の記憶に残る記念事業・式典になると思います。3.ロータリー奉仕デーの開催:三澤AG、井上晋一AG幹事にはご尽力いただき、当初2月開催予定がコロナにより5月に延期になりましたが、第4グループ6クラブ合同の奉仕デーが開催できました。相模川クリーンキャンペーンに合流して清掃活動、参道の清掃。参集殿での合同例会では講師に桂川相模川流域協議会 中門吉松氏を迎えての基調講演をいただきました。4.ロータリー財団・米山奨学会への協力:皆様の寄付により例年と同じように目標達成がなされたと思います。ありがとうございます。5.姉妹クラブとの交流:士林RC、寒河江RCとの交流もコロナにより今年度も実施することが出来ませんでした。今後コロナが落ち着き交流できることに期待をいたしております。○石腰会員増強委員長には、コロナ禍で委員会も開催できず、別別集会もままならなかったと思います。会員の知り合いの広がりでも茂内さんの入会、信金さんは退任・着任で二見さんの入会となりました。○鈴木クラブ管理運営委員長には、例会設営・準備など有難うございました。年間プログラムではやはりコロナの影響で例会内容の変更や休会、またオンライン(Zoom方式)理事会・例会の開催運営にご協力いただき、会員の皆様も全員がZoomで例会に参加することが可能になりました。感謝申し上げます。○井上奉仕プロジェクト委員長には、事業所訪問はコロナの影響により中止になりましたが、青少年奉仕事業としての協賛や、ロータリーの泉清掃と総合公園清掃(

産業まつり中止のため)、出向者による職業奉仕についての卓話など聞くことが出来ました。○中野親睦活動委員長には、直前会長幹事慰労会、クリスマス例会、賀詞交歓会、花見例会、移動例会は創業140年の歴史を誇る富士屋ホテルにて落ち着いた風情豊かな旧御用邸菊華荘での食事会懇親会は記憶にしっかりと残ります。どの企画もコロナでの感染対策に気を配りながらの事だったと思います。○山本国際奉仕委員長にはロータリー財団・米山奨学会寄付への協力をいただきました。皆様の寄付により例年と同じように目標達成がなされたと思います。ありがとうございます。○SAA磯川さんには例会の設営、運営について、また理事会でも提言をしていただきありがとうございました。○会計の清水さんには、クラブにとって大事な財務担当ということで一年間大変お疲れ様でした。ありがとうございました。○村松幹事には、常に例会、会長幹事会などなど補佐をしていただきながらここまで来ました。ありがとうございます。○中村副会長には、何といても自分がコロナに感染し例会をお休みした時に代理をお願いしましてありがとうございます。実は石腰エレクトにも代理をお願いしました。◇会長幹事会についてですが、毎月1回会議がある中でやはり年間の半分はZoom会議でした。対面での会議の場合は会議や懇親会で各クラブの会長幹事と知り合い交流も深まりました。茅ヶ崎湘南RC45周年、綾瀬春日RC30周年にも参加いたしました。◇地区へ出向者の皆様、三澤AG、井上AG幹事、山本和好地区補助金管理委員、下里地区ポリオプラス委員、島村地区職業奉仕委員。地域への出向として、観光協会へ青木さん。出向お疲れさまでした。また次年度引き続きの方もいらっしゃると思います。私自身は次年度地区米山奨学委員会に出向します。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(米山奨学会)は日本のロータリーが協同で運営する民間奨学団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。故・米山梅吉氏は1920年に日本で初の東京RCを設立し初代会長に就任。1924年に三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任。1937年に財団法人緑岡小学校(現、青山学院初等部)を創立し校長に就任。1946年にお亡くなりになりました。この事業は1952年東京RCが発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリー創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を称え、後世まで残るような有益な事業を行いたいと東京RCが創設したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を世界に伝え国際親善と世界平和に寄与したいという戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。この奨学金の特徴は「交流」を大切にしていることです。奨学生は毎月1回以上世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知りロータリークラブについて学びます。奨学期間終了後も「米山学友会」として現役奨学生と共に地域のロータリークラブと連携しながら地域貢献活動を行っています。奨学生一人に地区内の

ロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学期間中奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り交流します。更に世話クラブの会員がカウンセラーとなって日常の相談役をつとめます。2021学年度の奨学生数は910人、事業費は14億5千万と外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。累計奨学生は22,267名、その出身校は世界129の国と地域になります。素晴らしい米山奨学会と思います。▽地区事業：世界ポリオデーとしまして10月24日田島ガバナーを迎え第4グループ6クラブでのコロナ終息とポリオ撲滅のため寒川神社にてご祈祷を受けました。ポリオが一日でも早くゼロになる事を祈っております。▽台湾3522地区事業：医療用に準ずるマスク「FFP2他15,840枚」の寄贈を受け、消防本部、神恵苑、寒川ホーム、多くの郷様に寄贈させていただきました。消防本部へ訪問した時には、消防車も最新車両が導入された時で「マスクともども緊急時に役立ちます」とのお言葉をいただきました。今は茅ヶ崎と寒川が一緒になり寒川分署となりました。●この一年間での出来事：災害では熱海の土砂災害、佐賀・長崎の豪雨災害、ロシアによるウクライナ侵攻、いずれにも義援金の支援をしました。国内では伊藤博文さんから100代目になる岸田内閣の発足。何といっても延期になっていた東京2020オリンピックとパラリンピックの開催。また町営プール「ウォーターパークさむかわ」はオープンからもうすぐ1年。相模線開業100周年でイベント開催。第2東名高速道路延伸。川とふれあい公園のサッカー場に41,000個の苗を植え天然芝に。などの話題がありました。途中Zoom例会の時に雑学を取り込んだりもしました。おばさんという名前の魚のこと、日本にいるラッコの数など。会長の時間では、50年前の出来事。カップヌードル発売。マクドナルド銀座に1号店。NHKがカラー放送開始。おしゃべりな臓器といわれる胃袋の話や例会開始の点鐘について。香川県沖の海での船の事故での児童たちの友達への素晴らしい思いやり。サウナの整うとは。アンガーマネージメントの6秒ルール。どこの神社にもあるもので伊勢神宮にないものとは。次年度のRI会長テーマのイマジンにかけてイマジンの日本語の歌詞披露……。皆様にとってはいかがだったでしょう。今日は折角貴重な時間をいただきましたので、好きな落語の1つを披露させていただきます。五代目三遊亭柳昇さんの「里帰り」です。“ある日、田舎の老夫婦の元に3年前嫁いでいった娘が突然転がり込んでくる。いきなり何の連絡もなく、しかも夫も連れずに帰ってきた理由を父が問いただしてみると、どうやら夫の母親、つまり姑の嫁いびりに耐えかねて家出てきたらしい。そのいびりの内容というのは、ご飯の炊き方で文句を言われたり、夕飯の買い出しに100円玉1枚だけ渡され、しょうがなく自分の金で買ってきたら泥棒呼ばわりされるなど、実に陰湿で典型的な内容だったが、父は「そんな人でも、お前の夫を産んで立派に育ててくれた人なんだから大切にやらなきゃいけない」と言って、夫の元へ帰るように言う。それが嫌な娘は、「帰ったら即刻姑を殺す」と言い放ち、娘がそこまで追い詰められていることを

父は理解し、それならとロージンバッグほどの大きさの袋に入った白い粉を渡す。なんでもその粉は、「たった一舐めただけで人間は即死し、さらには遺体からは何の毒物も検出されない」という夢のような毒薬だという。この粉を手にした娘は「こんないい毒が手に入ったからには、飛んで帰ってすぐ殺すわ!!」と言うが、父は「今殺すのはまずい。世間で『世界一仲の悪い嫁姑』といううわさが立っているうちに殺すと、『ついに嫁いびりに耐えかねて嫁が姑を殺した』といううわさが立つだろう。そうになったら証拠がなくともお前は警察はに取り調べられる。お前は俺の子だから嘘を突き通せず殺人を認めてしまうだろう。俺は殺人には反対しないが、お前が逮捕されるのだけは反対する。だからこれから帰ってからは姑と仲が良いフリをして、世間の印象が『仲の良い嫁姑』になってから殺せ。世間に自然を装うのには少なくとも1年は我慢するんだ、いいな?」と言うと、娘も今までいびられ続けた時間に比べれば1年なんて短いと了解し、そのまま夫の元へ帰る。それから1年後、娘が再び実家に振り袖で帰ってくる。なんでも1年間仲の良いフリをするはずが本当に仲良くなってしまい、その振り袖も帰省のことを姑に話したところ、大急ぎで仕立ててくれたものだという。さらにはその結果夫との仲も睦まじくなり、妊娠3ヶ月を迎えているらしい。そこで父が2人の世間での評判を聞くと「世界一仲の良い嫁姑」とまで言われているらしいので、そろそろ潮時だ、殺さないのかと聞くと、娘はもう殺意はとうの昔に消え失せたという。その途端、父は豹変したように怒り出し、「俺はこの毒のすごさを確かめたかったんだ。お前がこの毒を使わないのならば、俺がこの身で確かめる。娘に裏切られた哀れな父として死んでやる」と言い出したため、娘は父の代わりに毒を飲み、自分の命と引き替えに毒のすごさを父に見せてやると言い放ち、父に別れを告げ、例の粉を嘗める。ところが、娘の体には何の変化も現れない。実はその粉「夢のような毒薬」というのは真っ赤な嘘で、本当はただのうどん粉なのだという。なんでこのような嘘をついたのかと娘が聞くと、「人間、誰でも人に嫌いという体で当たれば、その人もお前のことを嫌いになる。逆に好きという体で当たれば好きになる。だから俺はお前にこんな嘘をついて、それでもダメだったんなら戻ってきて欲しい。お前が嫁に嫁いでからというもの、お前の身を心配しなかった日は一日もなかった。親はいつでも子のことを心配しているもんなんだ」という本心を明かした。そしてその嘘は見事に実を結んだわけで、結果娘も幸せになれたということで娘は父に感謝すると共に、もし途中で我慢できなくなつてうどん粉で姑を殺そうとしていたらどうなっていたのかと父に聞くと「そりゃもちろん手打ちだろ」と答えるのであった。“この落語は最初にお話しした奉仕の純粋な気持ちではないでしょうか。ロータリークラブは奉仕団体であります。もっともっと奥深くロータリーの精神とはと考えていられる方がたくさんいらっしゃると思います。が個人的感想であります。こうしたことが奉仕の根柢の様な気がしております。最後に、理事役員の皆様、会員の皆様、村松

幹事、山本事務局、皆様一年間大変お世話になりました。お陰様で最後の例会を迎えることが出来ましたこと心から感謝申し上げます。

